

## 平成 23 年度練馬区協働事業提案制度（平成 24 年度事業実施分）審査結果一覧

## 採択された提案事業（7 事業すべて採択）

	提案事業名 / 講評	提案団体名
1	<p>S A N G O さろん</p> <p>（講評） 本提案は、母子保健の専門家である助産師の知識を活かした事業であり、区民のニーズがあり公共性が高いこと、人員体制、事業計画が具体的であること、保健相談所との連携による母子健康保健のサービスの向上が期待できることなどが確認できたことから、高い評価となり、協働にふさわしい事業として採択しました。 事業実施に当たっては、保健相談所と綿密な連携を図りながら進めてください。</p>	東京都助産師会 練馬分会
2	<p>災害時応援協定締結自治体との住民同士の連携・交流事業</p> <p>（講評） 本提案は、災害時の住民同士の支え合いを円滑に進めるための事業であり、それに向けた基盤づくりの事業です。東日本大震災では、行政の取り組みと同時に、民間団体からの支援が大きな役割を果たしてきたことから、その前提となる平時からの住民同士の交流や支え合いの意識の醸成はたいへん重要であると考えます。また、行政と連携を図りながら、行政では対応が困難な部分を補うことも期待できる事業であることから、高い評価となり、協働にふさわしい事業として採択しました。 なお、実施団体が町会連合会という大きな住民組織であることから、事業に参加する方を選定する際には、公平性を確保し、地域の偏りなどが生じないよう配慮してください。</p>	練馬区町会連合会
3	<p>外国人向け防災パンフレットの作成</p> <p>（講評） 本提案は、東日本大震災の際の光が丘の避難拠点における外国人の方々の不安やとまどいを教訓として、外国人の防災に対する意識啓発を図るとともに、発災時に備え、外国人も日本人と同様の知識を持ってもらえるよう、パンフレットを作成する事業です。プレゼンテーションにおいて、発災時の外国人のニーズが把握できていること、パンフレットの必要性が高いこと、具体的なパンフレットのイメージができており、その特徴が確認できたこと、また、外国人からの視点を反映するための仕組みがあることや、地域の資源であるアオバ・ジャパンインターナショナルスクールからの協力体制が確認できたことなどから、高い評価となり、協働にふさわしい事業として採択しました。 なお、事業に取り組むに当たっては、同じ協働事業提案制度で採択された「外国人区民と日本人区民との相互理解のための交流事業（提案団体：Next!練馬国際振興協会）」とも、連携できる可能性があると思われますので、意見交換を行うなど、相互の連携に期待します。</p>	光が丘地区住民組織 連合協議会

	提案事業名 / 講評	提案団体名
4	<p>障害のある方の「働く場所」づくりに向けた学習会とシンポジウムの開催</p> <p>(講評)</p> <p>本提案は、審査委員の中で、採択するかどうか意見が分かれました。</p> <p>議論の結果、障害のある方の働く場所をつくるというテーマの重要性や、ニーズ、公共性が高い事業であることが確認でき、また、団体の実績などから、今後、区の事業関係課との協議の中で、次に掲げる留意事項への対応が期待でき、それを遂行する能力があることなどを総合的に判断し、採択することとしました。</p> <p>〔留意事項〕</p> <p>本事業は貴団体の事業に対して支援する助成事業ではなく、貴団体と練馬区との協働で取り組む事業であるため、協働で取り組む必要性や協働で取り組む効果を十分検討する必要があります。</p> <p>また、働く場所づくりに向けた懇談会、学習会の事業対象が、企画書やプレゼンテーションで明確でなかったことや、学習会を終了した後の相談会を開催することで、障害のある方の働く場所づくりを具体的にどのように進めていくのか、1年間の事業成果、到達点をどこに置くのかが明確ではありませんでした。</p> <p>今後、区との協議を進める中で、協働で取り組む意義を改めて考えながら、1年間の協働事業としての目標、到達点をしっかりと決め、それに向けた事業の対象者や具体的な事業の手法や進め方を決定し、学習会とシンポジウムの関係性を明確にしたうえで、実施してください。</p>	<p>特定非営利活動法人 ワーカーズコープ</p>
5	<p>外国人区民と日本人区民との相互理解のための交流会事業</p> <p>(講評)</p> <p>本事業は、外国人区民と日本人区民の相互理解を図る事業です。企画書にもあり、外国人区民は年々増加傾向にあることから、テーマの重要性とともに、外国人区民の集まりやすい場所、時間など生活実態があまり掴めていない中、貴団体が多角的にチャレンジをしながら、なんとか外国人区民と日本人区民との接点を見出そうしている熱意と工夫が感じられました。更に、実施体制も着実に強化されていることから、高い評価となり、継続して協働するにふさわしい事業として採択しました。なお、今後、事業関係課との協議に当たっては、1年間の事業であることを踏まえ、事業内容や対象者を絞ることも、検討してください。また、同じ協働事業提案制度で採択された「外国人向け防災パンフレットの作成(提案団体:光が丘地区住民組織連合協議会)」とも、連携できる可能性があると思われますので、意見交換を行うなど、相互の連携に期待します。</p>	<p>Next!練馬国際振興協会</p>

	提案事業名 / 講評	提案団体名
6	<p>認知症介護家族による「介護の悩み相談」</p> <p>(講評)</p> <p>本事業は、認知症の方を介護する家族の負担軽減を図る事業であり、テーマの重要性や、公共性の高い課題であることは確認ができました。また、プレゼンテーションでは、介護家族からの相談に介護家族経験者が従事することで、同じ目線で寄り添うことの利点も確認できました。更に、従事する方も、日常的にスキルアップに努めており、事業に対する熱意、意識の高さを伺い知ることができたことから、高い評価となり、継続して協働するにふさわしい事業として採択しました。</p> <p>なお、今後、事業関係課との協議に当たっては、区と連携した事業の周知の強化をはじめ、認知症支援ネットワークの会のネットワークを活かした周知方法など、より多様な周知方法を検討し、支援が必要な方々に情報が届くように努めてください。</p>	練馬認知症支援ネットワークの会
7	<p>親子ひろば「LOVE ピース club」</p> <p>(講評)</p> <p>本提案は、様々な事情により行政の提供する場に馴染めない親子を対象とした事業であり、区民ニーズを的確に把握し、人員体制、事業計画が具体的であること、また、他の団体と連携をしながら事業を実施する場所の拡大が計画されており、熱意と事業の発展性が感じられたこと、更に、プレゼンテーションにおいて、予算の確保や将来的なビジョンなども確認できたことから、高い評価となり、継続して協働するにふさわしい事業として採択しました。</p> <p>事業実施に当たっては、保健相談所と綿密な連携を図りながら進めてください。</p>	特定非営利活動法人保育サービスぽてと